

第25回 企画展

時を超える 生き物たち

生きている化石のひみつ

Species Beyond Time

Miracles of Living Fossils



2002年 7月13日[土] - 9月29日[日]

開館時間 / 午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 / 毎週月曜日 (但し、9月16日・23日は開館し、翌日が休館となります。)

入館料 / 大人 720円 (580円) 高・大学生 440円 (300円) 小・中学生 140円 (70円)

※()内は20名以上の団体料金です。※未就学児・65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は入館無料です。

※この料金には本館の常設展・特別展の入場料が含まれています。

※毎週土曜日は、小・中・高校生は入館無料です。(但し、春・夏・冬休み期間は除く)

後援 / 日本古生物学会・ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

記念イベント /

自然講座

「生きている化石に学ぶ」/ 7月13日(土) スペシャルゲスト: 濱田隆士 氏(福井県立恐竜博物館館長)

「巨大いん石が地球をおそう」/ 7月28日(日) 講師: 平野弘道 氏(日本古生物学会会長・早稲田大学教授)

「身近なイチョウの意外な話・謎」/ 9月8日(日) 講師: 堀 輝三 氏(元筑波大学教授)

「メタセコイアの自生地を訪ねて」/ 9月8日(日) 講師: 百原 新 氏(千葉大学助教授)

ミュージアムコンサート

「ヴァイオリンは時を超えて」9月15日(日) 出演: 亀田砂織 氏(ヴァイオリン) 亀田美穂 氏(ピアノ)

※上記のイベントは、全て事前申込制となっております。電話または博物館ホームページにてお申込み下さい。

次回企画展 「稲いのちと文明の植物」
稲イネ科ワールドへようこそー

2002年10月19日(土)～2003年1月13日(月)

ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県岩井市大崎700番地 TEL.0297-38-2000

ホームページアドレス <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>

オウムガイ写真提供: 鳥羽水族館
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

第25回企画展

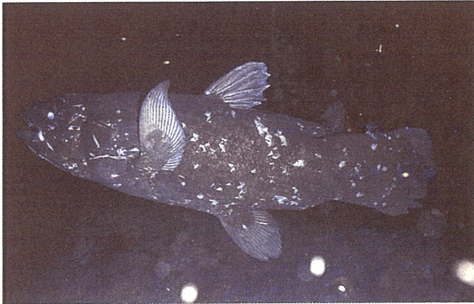
時を超える生き物たち

—— 生きている化石のひみつ ——

Species Beyond Time-Miracles of Living Fossils

この企画展で紹介するのは「生きている化石」と呼ばれる生き物たちです。何億年という長い年月を変わらぬ姿で時を超えて生き残ったものたち、かつて地球上に広く分布していたが、現在は地球の片隅に細々と生き残るものたち・・・種の多様性とその保護が叫ばれている今、永遠の時の中で連続する生命を感じてほしいという願いがこめられています。

シーラカンス



コモロ諸島のシーラカンス(映像) 提供：鳥羽水族館



シーラカンス化石

化石でしか知られていなかったこの魚が1938年に南アフリカ共和国沖で発見されました。それ以来「生きている化石」として様々な調査、研究、報告が行われてきましたが、その生態についてはまだ謎の多い魚です。

オウムガイ



オウムガイ 提供：桜井淳史/ネイチャープロ



オウムガイ化石

プカプカと浮き沈みしながら遊泳するオウムガイを見ることは、はるか昔のアンモナイトの姿を想像させてくれ、楽しいことです。どうしてアンモナイトは恐竜たちと共に滅び、オウムガイは生き残ったのでしょうか。水槽を泳ぐオウムガイやアンモナイトの化石を見ながら、あなたも推理をめぐらせてみましょう。

カブトガニ

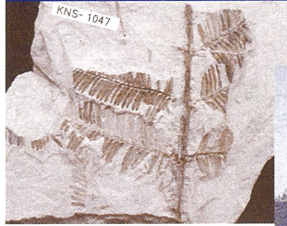


カブトガニ 提供：伊藤勝敏/ネイチャープロ

カブトガニ化石 カブトガニは世界に3種類しかいません。そのうちの1種が日本に生息しており、岡山県笠岡市のカブトガニ繁殖地は天然記念物に指定されています。カブトガニの祖先は4億年以上前に出現し、形は2億年以上ほとんど変わっていません。



メタセコイア



メタセコイア 撮影：百原新

メタセコイア化石

現在、公園や学校などで目にすることが多い樹木ですが、日本に入ってきたのは、いや戻ってきたのは50年ほど前です。この植物はかつて日本中に生えていましたが、およそ80万年前に日本では絶滅してしまいました。



イチョウ



イチョウ

イチョウ化石

あなたはイチョウの花を見たことがありますか？ 日本では最も知られている樹木のひとつであるイチョウですが、知らないこと、意外なことも数多くあります。日本から運ばれたイチョウはヨーロッパでは園芸、薬用として大人気です。



交通案内

- 車利用の場合
 - ・常磐自動車道谷和原I.C.から20分
 - ・古河方面から境町経由50分
 - ・下館方面から下妻市経由1時間10分
 - ・土浦方面から水海道市経由1時間
- 鉄道・バス利用の場合
 - ・関東鉄道常総線水海道駅から関東鉄道バス「岩井車庫行き」又は「岩井西高行き」乗車→「辺田三叉路」下車、茨城急行バス「野田市駅行き」に乗り換え→「自然博物館入口」下車→徒歩10分
 - ・東武野田線栗岩駅から茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車→「自然博物館入口」下車→徒歩10分
 - ・東京駅八重洲南口から高速バス「岩井行き」乗車→「辺田香取神社」下車、茨城急行バス「野田市駅行き」に乗り換え→「自然博物館入口」下車→徒歩10分

※ベッド及び道具等の持ち込みはご遠慮下さい

主な展示物

現生標本と化石標本の比較

シーラカンス、オウムガイ、ウミユリ、オキナエビス、カメ類、カブトガニ、イチョウ、メタセコイア、ソテツ、シダ類

水槽での生体展示

オウムガイ、カブトガニ、ウミユリ

貴重な資料、見所

シーラカンスのはく製、シーラカンスが深海を泳ぐ映像、シーラカンスのウロコにタッチ、日本最大級のメタセコイアを室内に再現、イチョウの精子が泳ぐ映像、化石に残された細胞を顕微鏡で観察、巨大隕石落下の痕跡(KT境界層のはぎとり)